愛好者の小考察

●日本　猪瀬晴久

私は夫婦で法輪功を学び始め二年が経ちますが、その間、風邪を引くことすらありません。以前の私は中年を迎え、疲労感、ストレス、不眠などに、更に先天性の腎臓疾患を手術した後の後遺症に悩まされていました。今はこれらのことからすべて解放されただけでなく、骨格、体型すらも変化を遂げました。又、私達に法輪功を伝えた妻の母は、首のリンパ腺にガンが転移しているという末期の肺ガンであったにもかかわらず、法輪功を学んだことにより、ガン細胞は全て消滅しました。

「そんな奇跡があるのか」「到底信じがたい」と思われるかもしれませんが、別段不思議なことではありません。真に法輪功を学ぶと病の根本原因が、何かを認識できるとともに、その対処方法も理解できるようになります。大多数の法輪功修煉者（真に法輪功を学ぶ人）は無病状態にあります。

我が国では老人医療、介護保険、膨れ上がる一方の国民健康保険費用に何ら有効な対策は無く、国費を圧迫し続けています。仮に、一千万人の人が無病状態になったらいかがでしょうか？人々は自己の健康管理や将来の不安から解放され、仕事や学業に励み、心身共にゆとりある生活を過ごせる様になり、当然、生産性も向上し、各種医療関係費も軽減することが出来る。これは国にとっても大いなる福音ではないでしょうか？

以上は健康という観点における、あくまでも法輪功の一側面ですが、更に法輪功では、心性というものを最重要視しております。ここが従来の病気治療・健康増進的気功と大きく異なる点です。心性を重んじ高めることで、はじめて功を伸ばし高めることができるのです。従って、法輪功を学び始めますと、ごく自然に、徳を守り、自らを律するようになります。当然学べば学ぶほど、自分の心性に対して厳しい要求を出していくようになります。これらの人達が、政治や権力を目指すでしょうか？正にその対極にいると思いませんか？

このように社会に対して大変有意義なものであることをご賢察頂けることと思います。

ところが、ご存知の通り、中国江沢民政権は創始者の李洪志先生或いは法輪功修煉者との対話を一切持たずして、非合法組織であり、邪教であると一方的に決め付けました。中国国内の修煉者を弾圧し、強引に逮捕し、暴力を振るい、金品を奪う等非人道的行為を繰り返しています。（これらの実例については、他に多くの資料がございますので、そちらをご参照願いたいと思います。）

私の妻は、昨年の十月、一人の愛好者として北京の政府に請願文を提出に行きましたが、手紙を受け取ってもらえず即刻逮捕され、自分の出身地である済南市に移送され、当地のホテルに二週間も軟禁されました。又、一月に中国に帰省したが入国を拒否され、日帰りで日本に戻されました。自国の国民を入国させないとはどういうことでしょうか？海外で法輪功を学んでいる自国民は皆亡命しろ、無国籍になれとでも言うのでしょうか？これでは自国の問題を他国政府に押し付けているのではないのです。世のものではないのです。世界四十数カ国で学んでいる人がいるのです。これはある意味では、中国が世界に誇れる立派な文化ではないかと思います。

法輪功を弾圧・迫害することは、「健康やストレス解消の為にスポーツをやったら、それは害毒があるので違法であり、公的秩序を乱す行為であるから逮捕する」というのとどこに違いがあるでしょうか？自らの国史を進んで汚す行為であることを認識され、英断を持って、正常な状態に戻すことを法輪功を愛するものとして、一人の中国人の妻を持つ者として切望する次第です。

法輪大法で再び生きる望みを得た

■中国大陸修煉者

一九九六年私は白血病にかかったと言い渡された。生きていくには定期的に化学治療を受けるしかない。二回の治療を経て、体力が衰え、立つことさえもできなかった。歩きはなおさらだった。髪の毛が全部抜けた。昼夜に介護が必要となり、完全に生活能力を失った。私はこのような死んだほうがましの生活にもう耐えられなくなった。

絶望の中、一九九六年八月、私は「法輪大法」と出合った。新聞も本も読めなかった、字も書けなかった私は一日に『転法輪』の一章を読むことができた。絶えず勉強と煉功し、心性を高め、自分を本当の修煉者として見なすようになった。

一九九七年七月、病院で再検査したところ、すべてが正常に戻った。先生の慈悲と大法の威力は死と生の境から私を救った。

修煉して四ヶ月の時、医学治療をやめ、薬も飲まなくなった。今になってもう三年も経ったが、私は病気で仕事を休んだこともなく、完全に健康な人となった。髪の毛も再び生えてきて、前より若返った。

病気治療有効率 97.9%

法輪功の修煉は病気治療のためのものではない。しかし本当の修煉は病気の心や体があってはじめて出来ないことである。従って本当に法輪功を修煉しようとする心が起こると病気が遠ざかっていく。

九八年中国国家体育総局は法輪功の病気治療効果について広東省の十都市一万二千五百人の法輪功学習者に対して調査を行った。全治及びほぼ全治率は七七・五％、有効率は九七・九％にのぼった。

さらに、北京で一万二千七百三十一人を対象に行われた調査は九九・一％の有効率を示した。

世界各地から

法輪大法への認証と賞賛（その一部）

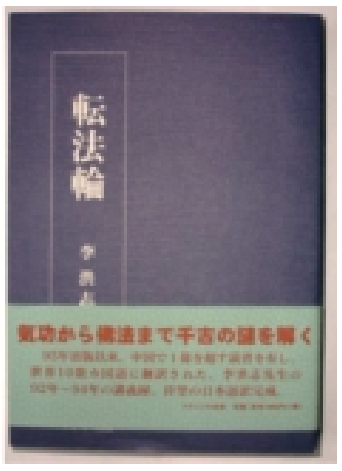
2000年12月4日　米国国会議員が李洪志先生に特別国会奨励証書を授与
2000年11月29日　米国ニューヨーク市議会から李洪志先生と法輪大法への顕彰状を授与
2000年11月10日　米国ニュージャージー州参議院は「法輪大法の週」を宣言及べ李洪志先生を表彰
2000年7月20日　カナダのコキトラム市とポートムーディ市がこの日を法輪大法の日にした
2000年7月20日　米国のアーカンソー州のファイエットビル市がこの日を法輪大法の日にした
2000年7月15日　米国フロリダ州が この日を法輪大法の日にした
2000年5月17日　ペンシルバニア州の衆議院から法輪大法日表彰状及び祝賀公告
2000年5月13日　テキサス州リガ市長が世界法輪大法の日に祝賀公告
2000年5月4日　ヒューストン市長が世界法輪大法の日に祝電
2000年1月9日　米国ミズーリ州ブーンは「法輪大法の週間」と宣言
1999年12月26日　米国ミズーリ州コロンビア市「法輪大法週間」と宣言
1999年9月3日　米国アトランタ市長が李洪志先生にアトランタ市「名誉市民」の称号を授与
1999年9月3日　米国ロサンゼルス市の李洪志大師顕彰
1999年8月16日　米国フィラデルフィア市が8月16日を「法輪大法の日」と宣言した
1999年8月14日　米国メリーランド州知事が李洪志先生に「名誉州民」の称号を授与（後に中国政府の圧力で取り消された）
1999年8月9～13日　米国首都ワシントン市は「ワシントン市法輪大法の週」と宣言
1999年7月23日　米国カリフォルニア州サンホセ市長が米国西部法会へ歓迎の手紙を送付
1999年6月25日　米国シカゴ市長が6月25日を「シカゴ市李洪志大師の日」と宣言
1999年6月25日　米国イリノイ州知事から李洪志大師へ顕彰状を授与
1999年6月25日　米国シカゴ市長が李洪志大師歓迎の手紙を送付
1999年5月22日　カナダのオンタリオ州知事から法輪大法弘法七周年慶祝大会へ祝辞
1999年5月22日　カナダのトロント市長から法輪大法弘法七周年慶祝大会へ祝辞
1996年10月12日　米国ヒューストン市から李洪志先生へ「名誉市民」と「親善大使」の称号を贈呈
1993年12月　北京で開かれた93年「東方健康博覧会」において、李洪志先生は博覧会の最高奨「学 際科学進歩奨」及び大会の「特別金奨」を受賞。また、「大衆に歓迎される気功師」との称号も授けられた。

法輪功についての日本語の資料、情報

■《転法輪》：李洪志先生の講法を基にして作られた、法輪功を理解するための本格的書籍

■《法輪功》：動作の図解を含む法輪功の入門書

■インターネット上に日本語で右記以外にも多くの著籍、最新情報などがあります。
法輪大法関連WEB：http://www.falundafa-jp.net



《転法輪》
（ナカニシヤ出版）

《法輪功》
（文芸社による出版）

日本における法輪功のボランティア連絡先

東京都		
足立区	鶴薗	03-3853-1141/03-3857-1141
	熊谷	03-3860-9159
江戸川区	佐藤	03-3676-0892/090-2316-0729
小金井市	松本	042-388-0780
神奈川県横浜市	小林	090-3685-5835
	紀	045-391-8826
千葉県八千代台市	盧	047-484-1935
埼玉県大宮市	猪瀬	048-648-6973
長野県松本市	杜	026-377-7884
新潟市	趙	070-6558-9216
宮城県仙台市	譚	022-227-3816
	張	022-271-0844
山形県	蔡	0238-24-6643
名古屋市	神谷	052-895-7321
京都市	袁	075-721-5265
大阪府大阪市	鷺島	06-6963-3890
	鳥居	0729-65-8187
神戸市	王	078-822-5856
広島県広島市	肖	082-294-5294
東広島	伊賀	082-424-1515
福岡県福岡市	月田	092-533-7043

法輪大法を始める方法（順序に関係なく）

（一）《転法輪》を一気に通読すること。これで“法輪大法”に対する基本的な認識ができる。大法関係の書籍は本屋で販売しているが、インターネットからも無料でダウンロードできる。
（二）最寄りの煉功場へお越しいただいて、五つの功法を学ぶこと。
（三）九日間の勉強会に参加すること。この九日間に、毎日李先生の説法ビデオをご覧いただく上で、五式の功法を学ぶ。勉強会が終了後、如何に大法を修煉するかがお分かりになると思う。（勉強会の日程及び場所など、最寄の煉功場にお問い合わせください。また法輪大法関係のウェブサイトからも最新情報を入手できる）。